

「生涯学習切り捨て御免!～剣道と私～」

6月19日(火)勝間ふれあいセンター学級(公開講座)を開催しました。今回は、高齢者・女性学級生の他一般の参加者を含め70名がこの講座に参加しました。講師に(財)山口県剣道連盟 理事・熊毛町体育協会 会長 河口 俊彦 先生(剣道 教士七段・居合道 範士八段)を迎え「生涯学習切り捨て御免!～剣道と私～」のご講演をいただきました。講演に先立ち熊毛町民憲章を参加者全員で唱和し、参加者の生涯学習に対する認識をさらに高めました。

河口先生の講演を楽しみにされていた方も多く、最後まで熱心に講演そして演武に聞き(見)入っておられました。公開講座(講演)の内容を報告します。

「何処を切りよる!」「もっと腰をいれて切らんか!」「とどめは確実に!」…これは居合道大会出場選手特訓の一コマです。外で聞けば殺人訓練かと誤解されそうな監督の声が容赦なく選手の頭上に降り掛かります。

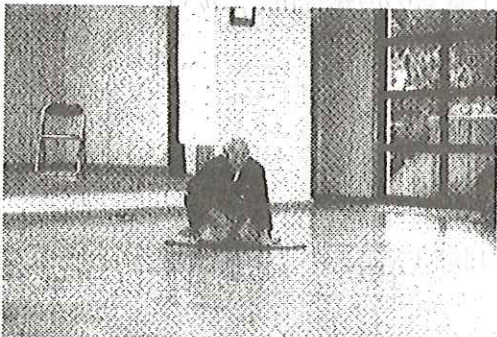
一步間違えば大変な事件にもなりかねない状況の下で、「居合とは人に切られず人切らず己れを治めて平らかなり」と歌伝にある如く、その究極を人間形成の道に求めています。その厳しい稽古と訓練に耐える忍耐と強い精神力が、選手の一員でもある17才の少年をキレずに頑張らせています。

三丘少年剣道教室(時習館三丘)の小学生男女も大きな目的に向かってその土台づくりに汗を流しています。発足以来25年、継続は力と休まず続けることを良しとして、今も20数名が稽古に励む現状に指導員一同嬉しく思い、保護者皆様の温かいご理解と協力に深く感謝している次第です。

一昨年、昨年と全日本剣道連盟の命でイタリアに剣道・居合道の指導に行き参りました。彼らのそこにある目的は日本の伝統文化である武道、即ち武士道精神にあります。従って指導にあたる私どもは彼らにとれば武士なのです。稽古に臨む彼らの熱意、姿勢態度、礼儀に及ぶ全てにおいて、私は逆に教えられた感さえ抱かずにはいられませんでした。そして又、真剣に学ぶその姿こそ正に彼らの生涯学習であるとも。…

私は、平成11年12月に定年を迎えました。幸い趣味に追われ時間のもてあそびはありませんが、挑戦に定年はないものと心し、合格率1パーセントの剣道八段へ挑戦することを決心した昨今であります。これが私の生涯学習であり生涯(いきがい)スポーツであります。もっとも過ぎたるは・・とか、傷害・・とならぬよう念じつつ。

御免!



ふれあいゆーる編集後記

講演最後の演武では、居合道範士八段 河口先生の全身にみなぎる凄まじい氣迫(業)が、見ている人にも充分伝わりました。

「感謝・挑戦・健康」の三つを大切にしているとお話の中で、特に人との出会いを何よりも大切にしていると話されたのが、特に印象に残りました。

勝間地区校外育成連絡協議会 総会・熊毛町生涯学習のまちづくり勝間地区推進協議会 総会

6月25日(火)勝間ふれあいセンターにおいて、青少年の健全育成および生涯学習のまちづくり推進には、『地域が一体となった体制を整え、活動していくことが大切だ。』ということで、平成13年度より同日時に、勝間地区校外育成連絡協議会 総会・熊毛町生涯学習のまちづくり勝間地区推進協議会 総会を開催しました。

役員を選出および青少年の状況報告(近況報告)・意見交換等 協議内容をお知らせします。

◎平成13年度 役員選出

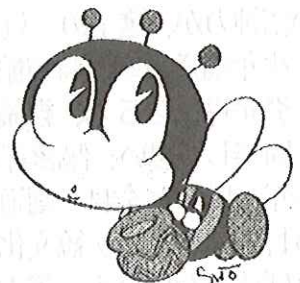
校外育成連絡協議会		生涯学習推進協議会	
会長	内山 和美	会長	福田 和紀
副会長	原田 眞次・佐藤 勝彦	副会長	内山 和美・角田 美彌子
監査	福田 和紀・西田 加代子	監査	小浴 康彦・神代 知榮子

◎青少年の状況報告(近況報告)・意見交換等 協議内容

平成12年度と同一項目(事業)『あいさつと美しいまちづくり』を実施する。ふれあい祭りは11/11(日)に実施予定。又、地域ふれあい活動として、子ども会育成会、母親クラブ等関係団体と協力して「大どんど焼」を開催予定。

総会で次のような意見が出たので、勝間地区住民の協力を得ながら対応したい。

- ・ 青少年の窃盗(万引)、喫煙、夜間外出、暴走行為による騒音、無免許運転等の事件が発生している。
- ・ 幼児虐待の情報を通報して欲しい。(民生児童委員より)
- ・ 子ども会資源回収時の新清光台広場の運搬車両の安全確保。(検討課題)
- ・ 子ども会活動に参加者が減少。→育成者(保護者)の協力が必要。
- ・ 防犯連絡指導員の方へ情報が入ってこない。(入りにくい)
- ・ 各行事(地域活動)に、だれもが参加できる雰囲気をつくる。
- ・ 子ども110番の確認を行い、子どもに知らせる必要がある。
- ・ 勝間駅前歩道の不法駐輪が目立つ→事実上は非常に難しい問題。
- ・ 青少年や子どもへ一声かけることが大切なのではないか。
- ・ 啓発活動(ふれあいめーる等)で、呼びかけを行う。
- ・ 幼保、小学校で、今不審者に対する対応や安全管理に苦労している。不審者の情報提供について地域の協力を!



◎その他の意見として

- ・ 家庭でのふれあいの欠如→家庭から学校から地域からあたたかくみまもる
- ・ 子どもより親同士があいさつをする必要
- ・ 子どもをほめてやること(子どもの失敗をとがめない)
- ・ 子どもの教育より親の教育が優先ではないか(団地内の違法駐車および勝間駅前の不法駐輪等)

以上、お知らせいたします。ぜひ、地域の方々の協力をお願いいたします。

地域の情報・意見・ふれあいめーるの感想等ありましたら E メールなどでご意見をお聞かせ下さい。

E-mail kafure@town.kumage.yamaguchi.jp